



Wilhelm・Conrad・Röntgen  
ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン  
1895年 X線発見

☆ご自由にお持ちください☆

# 放射線だより

2023年7月  
No.7 (隔月発行)  
担当:馬場

from Radiation House

## 一般撮影室に新しい全脊椎の撮影装置を導入しました

### FUJIFILM DR CALNEO GL



### どこが変わったのか？

- ・検査が短時間になりました。  
以前の装置だと息止めが約15秒程度必要でしたが1/3の約5秒で撮影できます。
- ・撮影の回数が減り被ばくが少なくなりました。  
以前は3回に分けて撮影していましたが、この装置では1回で撮影できるので放射線の被ばくが減りました。
- ・寝ている状態で撮影が可能になりました。  
体が痛く立つことが困難な患者さまの場合でも機械が下に動くので検査可能になりました。



私たち放射線技師は日々、患者さまの負担がなるべく少なく検査できるよう心がけています。検査中でも何かご不明な点等あれば遠慮せず担当技師にお声かけ下さい。

(文責 横田)

# CT装置のお知らせ

## 2021年2月26日よりCanon社製の 新装置が稼働しています。



Aquilion  
PrimeSP

### ●低被ばくと高画質を両立します

Deep Learningを応用した画像再構成技術により、被ばくを大幅低減、高画質を両立したCT検査が可能になりました。

### ●撮影が短い時間で可能です

短時間で高精細な画像取得が可能です。息止めや静止が短時間で済み、負担の少ない検査を行えます。  
胸部は5秒程度の息止めで撮影出来ます。

### ●ワイドボアを採用しています

78cmの大開口径ガントリによって検査時の圧迫感の減少など快適な検査が可能となります。 (文責:折原博幸)